音声多重対応型TV変調器

MODEL HEM－550

取扱説明書

D861006800

このたびは日本アンテナの製品をお買い求め頂きましてありがとうございます。

●本製品を正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの説明書をよくお読みください。

●本書はお読みになった後も、いつでもご覧になれる場所に必ず保管してください。

NIPPON ANTENNA 日本アンテナ

機器の概要と特長

● 概要

本器は、ベースバンドの映像及び音声信号を 6MHz 帯域の TV 信号に変調し、VHF、ﾐｯﾄﾊﾞﾝﾄﾞ、ｽｰﾊﾟｰﾊｲﾊﾞﾝﾄﾞ、及び一部の UHF 帯域に放送波を出力する音声多重対応型ＴＶ変調器です。

● 特長

1　本器は、外部よりステレオ、二重音声、モノラルの各モードにコントロールできます。

2　映像、音声ＩＦ帯にＳＡＷフィルタを採用しており周波数特性が良好です。

3　ロータリーディップスイッチの操作により、VHF1ch～12ch、C13ch～C63ch、UHF13ch～25ch 内の任意のチャンネルに出力されます。尚、ロータリーディップスイッチのチャンネル設定は別紙のチャンネル設定表を参考して下さい。

4　ＩＦ変調部の 4.5MHz 発振部、及びコンバータ部には PLL シンセサイザ方式を用いておりますので周波数が極めて安定しており、局部発振周波数安定度は水晶発振方式とほぼ同等です。

5　周波数変換方式はダブルコンバータ方式を採用し、ＩＦ周波数、ＢＰＦの設定等独自の設計をとりいれております。

6　音声多重エンコーダ部には、31.5kHzBPF、APC 回路、過変調防止用リミッタ回路等をとりいれております。

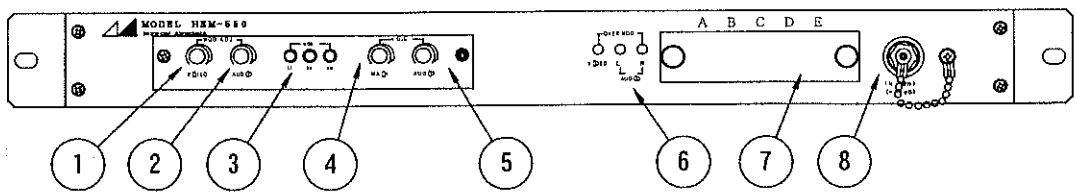
7　過変調表示ランプにより、映像及び音声信号の変調度調整が容易に行えます。

8　本体ケースは JIS 規格の 1H サイズで場所を取りません。また、別売りの EIA パネル(1U サイズ)を使用すれば、EIA 規格のラックにも収納できます。

9　出力レベルは１１８ｄＢμＶと、高出力設計です。

各部の名称と説明

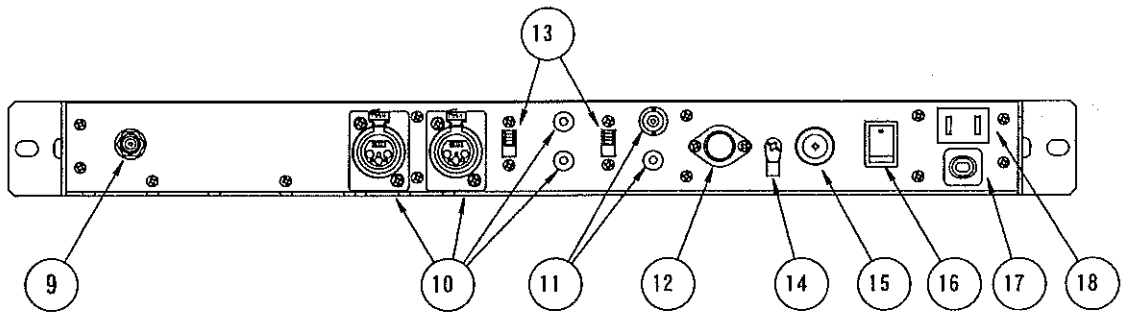
■前面パネル



①	**VIDEO MOD ADJ**	映像変調度の調整ボリュームです。
②	**AUDIO MOD ADJ**	音声変調度の調整ボリュームです。
(注) 変調度は工場出荷時に当社の標準レベルに調整してありますが、これ以外のレベルで使用される場合は、過変調表示ランプ⑥を目安に再調整してください。		
③	**MODE**	音声モード表示 LED で、ST、DU、MO を表示する。
④	**MAIN G.C**	RF 出力レベルの調整用ボリュームで、最大出力 118dBμV(75Ω終端時)に対して 0～−10ｄＢの可変範囲があります。
⑤	**AUDIO G.C**	音声キャリアレベルの調整用ボリュームで、映像キャリアに対して−6～−20dB の可変範囲があります。
⑥	**OVER MOD**	過変調表示ランプで、映像・音声の変調度が過変調の時点灯します。
⑦	**RF CHANNEL**	出力チャンネル設定用ロータリーディップスイッチです。
⑧	**OUT MONI**	RF 出力モニタ(結合損失−20dB)です。

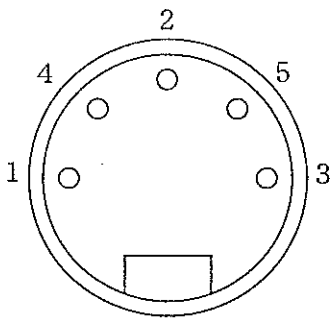
各部の名称と説明

■背面パネル



⑨	**RF OUT**	ＲＦ出力端子で最大１１８ｄＢμＶ出力します。（75Ω終端時）
⑩	**AUDIO** 入力端子	ＰＩＮの音声入力端子は、240mVrms／4.7KΩの入力で、100%変調に調整してあります。ｷｬﾉﾝｺﾈｸﾀｰの音声入力端子は、600Ω平衡の入力です。
⑪	**VIDEO** 入力端子	ビデオ入力端子は、ＢＮＣとＰＩＮの入力端子があります。入力レベルは 1Vp-p／75Ωです。
⑫	リモート	音声モードの外部コントロール端子でＴＴＬ ‘Low ‘レベル（負論理）でモードが選択されます。コネクターは 5PIN DIN タイプで、コネクターを接続しない時は自動的にモノラルに選択されます。

＊リモート端子（5PIN DIN コネクター）



ピン番号	端子内容
1	オープン
2	二重音声
3	ステレオ
4	オープン
5	グランド

⑬	**VIDEO** 入力切換	⑪の PIN と BNC の切換をおこないます。
	AUDIO 入力切換	⑩の PIN とｷｬﾉﾝｺﾈｸﾀｰの切換をおこないます。
⑭	アース端子	グランド
⑮	**FUSE ホルダー**	1A のガラス管ミニヒューズが内蔵されています。
⑯	**POWER SW**	AC 電源の ON/OFF を行うスイッチです。
⑰	**コンセント**	AC コンセント
⑱	**サービスコンセント**	最大 300W のサービスコンセント

操作手順　1

＊　入力信号が規定レベルの場合は以下の手順で調整してご使用ください。

1　映像入力端子をスイッチ⑬で選択し映像信号を入力します。

2　音声入力端子をスイッチ⑬で選択し音声信号を入力します。

注）ステレオ、二ヶ国語放送の場合音声信号の主／左と副／右を間違えないようご注意下さい。（　主／左の信号　⇒M／L　・　副／右の信号　⇒S／R　）

3　リモート端子に音声モードコントロール用 5PIN DIN コネクターを差し込みます。

注）当社ＢＳチューナー　HER-305A に接続される場合は、チューナー付属のリモートケーブルをご使用下さい。それ以外に接続される場合は⑫リモートに対応するように DIN コネクターを配線して下さい。

4　出力チャンネルをロータリーディップスイッチにて設定して下さい。
（チャンネル設定は、本体天面に貼って有るチャンネル設定表又は、取り説を参考にセツトして下さい。）

注）ロータリーディップスイッチのツマミは、軽く回して下さい。
力を入れて回しますと破損の恐れがあります。

5　④のボリュームにて出力レベルを調整します。（最大出力 118dBμv）
出力レベルの調整は前面のモニター端子⑧にて行えます。結合損失-20ｄＢです。

6　⑤のボリュームにて音声キャリアレベルを調整します。
V/A 比は通常-6dB ですが隣接伝送の場合は-12～-16dB に調整します。

7　調整が終わりましたら誤動作防止用アクリル板をビス止めしてください。

操作手順　2

＊　入力信号が規定レベルでない時は以下の手順で調整を行ってください。

1　映像変調度調整は、①のボリュームにて0～100%まで連続可変する事ができますが工場出荷時は1Vp-p入力で100%変調に合わせてありますので、これ以外のレベルで使用する場合は再調整が必要です。再調整する時は、
VIDEO　OVER　MODランプ⑥が点灯する寸前まで変調度調整ボリューム①を回して調整してください。

2　音声変調度調整は、②のボリュームにて0～100%まで連続可変する事ができますが工場出荷時は240mVrms入力で100%変調に合わせてありますので、これ以外のレベルで使用する場合は再調整が必要です。再調整する時は、
AUDIO　L/R　OVER　MOD　2つのランプ⑥が点灯する寸前まで変調度調整ボリューム②を回して調整してください。

注）本器は、音声にリミッタ回路が内蔵されていますので、音声レベルを調整する場合②のボリュームを上げ過ぎますとリミッタ回路が働き、変調度がそれ以上上がらなくなります。
又、BSﾃﾞｼﾞﾀﾙ放送などを再送信する場合は音声のﾀﾞｲﾅﾐｯｸﾚﾝｼﾞが広い為、音声変調度のﾎﾞﾘｭｰﾑを下げて使用してください。過変調のままですとﾘﾐｯﾀ回路が働きテレビで復調した時、音声が変動します。

3　音声モードを固定して設定する場合は、リモート⑫に対応するピン番号をアースに短絡する事によりモードが選択されます。

・DINコネクターの2ピンと5ピンをショート　⇒　二重音声
・DINコネクターの3ピンと5ピンをショート　⇒　ステレオ
・DINコネクターを接続しない時　⇒　モノラル

● 性能発揮のために

1　映像変調度は最適レベルに調整して出荷しています。したがって通常はVIDEO MOD ADJボリューム①の調整は必要ありません。

2　機器の設置は高温多湿等を避け最適な場所をお選びください.

HEM−550　チャンネル設定表

チャンネル ch	RF設定 ABCDE	周波数帯域 (MHz)	映像搬送波 (MHz)	音声搬送波 (MHz)
1	FD580	90~96	91. 25	95. 75
2	FD58C	96~102	97. 25	101. 75
3	FD598	102~108	103. 25	107. 75
C13	FD5A4	108~114	109. 25	113. 75
C14	FD5B0	114~120	115. 25	119. 75
C15	FD5BC	120~126	121. 25	125. 75
C16	FD5C8	126~132	127. 25	131. 75
C17	FD5D4	132~138	133. 25	137. 75
C18	FB5E0	138~144	139. 25	143. 75
C19	FB5EC	144~150	145. 25	149. 75
C20	FB5F8	150~156	151. 25	155. 75
C21	FB604	156~162	157. 25	161. 75
C22	FB614	164~170	165. 25	169. 75
4	FB620	170~176	171. 25	175. 75
5	FB62C	176~182	177. 25	181. 75
6	FB638	182~188	183. 25	187. 75
7	FB644	188~194	189. 25	193. 75
8	FB64C	192~198	193. 25	197. 75
9	FB658	198~204	199. 25	203. 75
10	FB664	204~210	205. 25	209. 75
11	F7670	210~216	211. 25	215. 75
12	F767C	216~222	217. 25	221. 75
C23	F7688	222~228	223. 25	227. 75
C24	F7698	230~236	231. 25	235. 75
C25	F76A4	236~242	237. 25	241. 75
C26	F76B0	242~248	243. 25	247. 75
C27	F76BC	248~254	249. 25	253. 75
C28	F76C4	252~258	253. 25	257. 75
C29	F76D0	258~264	259. 25	263. 75
C30	F76DC	264~270	265. 25	269. 75
C31	F76E8	270~276	271. 25	275. 75
C32	F76F4	276~282	277. 25	281. 75
C33	F7700	282~288	283. 25	287. 75
C34	F770C	288~294	289. 25	293. 75
C35	F7718	294~300	295. 25	299. 75
C36	F7724	300~306	301. 25	305. 75
C37	F7730	306~312	307. 25	311. 75

チャンネル ch	RF設定 ABCDE	周波数帯域 (MHz)	映像搬送波 (MHz)	音声搬送波 (MHz)
C38	F773C	312~318	313.25	317.75
C39	F7748	318~324	319.25	323.75
C40	0F754	321~327	325.25	329.75
C41	0F760	330~336	331.25	335.75
C42	0F76C	336~342	337.25	341.75
C43	0F778	342~348	343.25	347.75
C44	0F784	348~354	349.25	353.75
C45	0F790	354~360	355.25	359.75
C46	0F79C	360~366	361.25	365.75
C47	0F7A8	366~372	367.25	371.75
C48	0F7B4	372~378	373.25	377.75
C49	0F7C0	378~384	379.25	383.75
C50	0F7CC	384~390	385.25	389.75
C51	0F7D8	390~396	391.25	395.75
C52	0F7E4	396~402	397.25	401.75
C53	0F7F0	402~408	403.25	407.75
C54	0F7FC	408~414	409.25	413.75
C55	0F808	414~420	415.25	419.75
C56	0F814	420~426	421.25	425.75
C57	0F820	426~432	427.25	431.75
C58	0F82C	432~438	433.25	437.75
C59	0F838	438~444	439.25	443.75
C60	0F844	444~450	445.25	449.75
C61	0F850	450~456	451.25	455.75
C62	0F85C	456~462	457.25	461.75
C63	0F868	462~468	463.25	467.75
U13	0F878	470~476	471.25	475.75
U14	0F884	476~482	477.25	481.75
U15	0F890	482~488	483.25	487.75
U16	0F89C	488~494	489.25	493.75
U17	0F8A8	494~500	495.25	499.75
U18	0F8B4	500~506	501.25	505.75
U19	0F8C0	506~512	507.25	511.75
U20	0F8CC	512~518	513.25	517.75
U21	0F8D8	518~524	519.25	523.75
U22	0F8E4	524~530	525.25	529.75
U23	0F8F0	530~536	531.25	535.75
U24	0F8FC	536~542	537.25	541.75
U25	0F908	542~548	543.25	547.75

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

NIPPON ANTENNA

本社／〒116-8561東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

東京支店	〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8	☎(03)3893-5371
名古屋支店	〒467-0851 名古屋市瑞穂区塩入町18-1	☎(052)822-3321
大阪支店	〒534-0015 大阪市都島区善源寺町1-12-3	☎(06)6928-3461
福岡支店	〒816-0088 福岡市博多区板付6-12-58	☎(092)584-1751
札幌営業所	〒003-0029 札幌市白石区平和通1-北7-23アサヒ平和ビル1F	☎(011)865-8522
盛岡営業所	〒020-0013 盛岡市愛宕町17-1	☎(019)625-3128
仙台営業所	〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町25-23	☎(022)390-0255
郡山営業所	〒963-8051 郡山市八山田3-91	☎(024)921-6011
宇都宮営業所	〒321-0904 宇都宮市陽東5-10-28	☎(028)663-4191
高崎営業所	〒370-0004 高崎市井野町375-3	☎(027)361-1041
水戸営業所	〒311-4142 水戸市東赤塚63-2	☎(029)253-6901
長野営業所	〒381-0034 長野市大字高田1746-1	☎(026)244-3135
大宮営業所	〒330-0031 大宮市吉野町1-340-2	☎(048)651-7361
千葉営業所	〒260-0843 千葉市中央区末広2-1-18	☎(043)265-6401
多摩営業所	〒190-0003 東京都立川市栄町3-15-15	☎(042)540-1100
横浜営業所	〒221-0825 横浜市神奈川区反町2-14-1反町ながせビル	☎(045)324-9241
平塚営業所	〒254-0002 平塚市横内2718-1	☎(0463)53-0620
静岡営業所	〒422-8034 静岡市高松1-3-18	☎(054)238-1200
浜松営業所	〒435-0054 浜松市早出町1211-8	☎(053)462-8521
広島営業所	〒733-0035 広島市西区南観音2-5-34	☎(082)292-2747
高松営業所	〒761-8054 高松市東ハゼ町5-3	☎(087)865-0945
熊本営業所	〒861-4112 熊本市白藤町85-1	☎(096)358-6211
北九州営業所	〒806-0071 北九州市八幡西区上の原2-3-14	☎(093)611-5258
鹿児島営業所	〒891-0115 鹿児島市東開町5-12	☎(099)260-9666
釧路出張所	〒085-0051 釧路市光陽町2-14	☎(0154)24-7410
塩尻出張所	〒399-0702 塩尻市広丘野村字金塚1004-1	☎(0263)53-5221
川崎出張所	〒213-0033 川崎市高津区下作延263 鈴木ビル301	☎(044)854-2328
神戸出張所	〒651-2113 神戸市西区伊川谷町有瀬1278-1	☎(078)978-5545
岡山出張所	〒700-0976 岡山市辰巳27-103	☎(086)241-9808
神田事務所	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-32第1NSビル3F	☎(03)5295-0051

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。